

【現場除雪事例：H13 北海道 5】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道40号名寄市大和橋下部工事
施工場所	北海道名寄市字智恵文
工期	平成13年12月4日～平成14年3月22日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 1.2m ³ 級、バックホウ 0.4m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	現場はAM7:30より作業開始のため、除雪作業車はAM7:00より除雪作業を開始する。タイヤショベルで搬入路を除雪し、バックホウは場内の除雪を行う。搬入路の除雪距離が3KMあるので、小型のタイヤショベルでは能力不足のため、大型の1.2m ³ 級タイヤショベルを早朝に調達(リース)し、現場内に常駐した。



出入口部除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 37】

除雪工夫分類	A2:気象情報確認・活用 / A4:早出や終了時の除雪
工事種別	道路工事
工事名称	忠別ダム建設事業の内 町道付替 旭岳トンネル工事
施工場所	北海道上川郡東川町 東20号地先
工期	平成11年8月25日～平成14年12月20日
使用機材 / 機械	スノーダンプ、雪かき、スコップ / ショベルローダー1.2m ³ 級、バックホウショベル0.7m ³ 級、ブルドーザーD50P
現場除雪の工夫・留意点等	特別なことはしていないが、工事用道路の除雪(ショベル、ローダーによる)については天気予報と当日朝の宿舎付近の積雪量から判断して担当者が早出して除雪を実施し、本作業に支障をきたさぬようにしている。ショベル、ローダーは除雪専用とし、運転有資格者の手空き状態により、積雪量がひどくなくてもこまめに除雪を実施するように心がけている。



早朝作業前工事用道路除雪(ショベルローダー)

【現場除雪事例：H13 北海道 51】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道231号浜益村 床丹覆道上部工事
施工場所	北海道浜益郡浜益村大字群別字床丹
工期	平成13年3月15日～平成14年3月8日
使用機材 / 機械	スコップ、ジョンバ / ホイルローダ 0.4m ³ 、ブルドーザ（湿地）5t 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事用車両が毎日出入するため、作業開始前、早出をして運搬路等の除雪作業を行う。宿舍の出入口、駐車場も除雪を行うため（現場と宿舍約2km）機動性のよいタイヤショベルを使用。ブルドーザは現場のみの除雪作業に使用。</p>



【現場除雪事例：H13 北海道 65】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	日高自動車道 鷓川町 米原改良工事
施工場所	北海道勇払郡鷓川町字米原
工期	平成 13 年 3 月 24 日 ~ 平成 14 年 1 月 25 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	作業開始時間前(2h程度)に早出にて進入路及び作業力所の除雪を開始し、スムーズに作業可能な状態にした。土工時に使用するバックホウにて施工した。

【現場除雪事例：H13 北海道 109】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	深川留萌自動車道 北竜町石川の沢橋下部工事
施工場所	北海道北竜町
工期	平成 13 年 3 月 24 日～平成 14 年 2 月 6 日
使用機材 / 機械	除雪用スコップ / ブルドーザー 3t 級、ブルドーザー 21t 級、バックホウ 0.7m ³ 級、ダンプトラック 10 t 積
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事中道路除雪にあたっては、作業開始時には除雪作業を終了し作業開始の遅延を減少する為、除雪作業を早期から開始した。降雪が多い日等は、作業終了前にも除雪作業を行い翌日に備えた。使用機械は、他の作業に使用する物と、兼用なので、作業が重複しない様作業計画を行い、作業工程に支障がない様工夫した。</p>
	
<p>防寒養生囲い屋根部人力除雪</p>	

【現場除雪事例：H13 北海道 126】

除雪工夫分類	F:その他 / A4:早出や終了時の除雪
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道231号浜益村タンバケ防災工事
施工場所	北海道浜益郡浜益村大字群別字雄冬
工期	平成13年3月10日～平成14年3月1日
使用機材 / 機械	雪かきスコップ、角スコップ、アルミスコップ / タイヤショベル 0.8m ³ 、バックホウ 0.7m ³
現場除雪の工夫・留意点等	塩化カルシウムを使用して、人力による作業の軽減を行った。作業開始前に除雪作業を行った。



現場出入口付近タイヤショベルによる除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 140】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道452号夕張市シューパロダム仮付替トンネル工事
施工場所	北海道夕張市南部東町
工期	平成12年9月27日～平成14年3月29日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 0.6m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	作業員の早出、残業にて対応シートにて養生を行い人力作業を減らす。



場内除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 143】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / D1:構造物への配慮 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道334号斜里町知布別改良工事
施工場所	北海道斜里町 真鯉
工期	平成13年3月15日～平成14年3月13日
使用機材 / 機械	除雪スコップ / バックホウ 0.4m3 級、ブルドーザーD20A
現場除雪の工夫・留意点等	重機オペが始業時間に作業が行えるように事務所前、作業用道路を始業時間の2時間程度早く現場に来て除雪を行う。構造物の側は、機械で除雪を行うと破損する恐れがあるので人力により除雪を行う。除雪を効率よく行うため、巾の広い法面バケットを使用した。除雪作業中は片側交互通行の規制をかけて行った。



構造物箇所人力除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 160】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道231号 増毛町 日方泊トンネル
施工場所	北海道増毛郡増毛町岩尾
工期	平成13年8月1日～平成16年3月26日
使用機材 / 機械	0.8m ³ 級 タイヤショベル、1.3m ³ 級 タイヤショベル、10t ダンプ
現場除雪の工夫・留意点等	本作業前（AM7:00）に除雪を終了させるためAM6:00より除雪をすることズリ運搬ダンプ現場外集積場に排雪する抗口ヤードと吹付プラントヤードが約3.0km離れていて国道も走行しなければならないためそれぞれのヤードに専用のタイヤショベルを配置している



車道部排雪及び融雪作業

【現場除雪事例：H13 青森県 3】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	下流工事用道路紙漣沢地区工事
施工場所	青森県中津軽郡相馬村大字紙漣沢地内
工期	平成 13 年 11 月 3 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	雪ベラ / WA80-3 タイヤショベル 0.9m3
現場除雪の工夫・留意点等	現場作業に影響しない様、早朝出勤し除雪作業を行った。土工事箇所は、雪が混入しない様シート養生を行う。



シート養生している状況

【現場除雪事例：H13 秋田県 11】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪
工事種別	道路工事
工事名称	13災 0660-10 道路災害復旧工事
施工場所	秋田県平鹿郡山内村小松川字大郎台地内
工期	平成13年12月21日～平成14年3月25日
使用機材/機械	スノーダンプ、アルミスコップ/15t ブルドーザー、バックホウ0.45
現場除雪の工夫・留意点等	積雪量の多い日は、作業終了時に翌日施工箇所を除雪し、朝の除雪作業を軽減した。



仮設道路ブルドーザ除雪状況

【現場除雪事例：H13 福島県 6】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / C1:作業員の安全
工事種別	道路工事
工事名称	地方特定道路整備工事
施工場所	福島県南会津郡下郷町大字大内地内
工期	平成 13 年 11 月 14 日～平成 14 年 3 月 22 日
使用機材 / 機械	スコップ、スノーダンプ / ローダー WA100 バケツ容量 1.2m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	作業時間に影響が無いように、早朝又は前日に除雪を行う、又、積雪量が多い時は、常時除雪を行っている。コカツ WA100 バケツ容量 1.2m ³ 級を使用していますが、乗員 1 名の為、別の車で 1 名付け、周囲の安全管理を実施している。



除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 117】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定 / B2:現場機材の活用 / A4:早出や終了時の除雪
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号 虻田町 泉北歩道補修工事
施工場所	北海道虻田郡虻田町字泉
工期	平成13年11月9日～平成14年3月8日
使用機材 / 機械	油圧バックホウ 0.45・、油圧バックホウ 0.2・、タイヤショベル 0.4・、ダンプトラック 4t、ダンプトラック 10t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事施工箇所は、バックホウタイヤショベルにて、道路用地内に堆積。道路用地内に堆積する場所がない場合は、ダンプトラックにて排雪して工事用の借地に堆積。一般道路は、通行規制の状況路面状況に応じて塩カル散布を行う。バックホウは、工事で使用するものを利用し、タイヤショベル4tダンプトラックは、除雪排雪用に常に現場に置く。排雪には、場合により10tダンプトラックを使用する。作業開始時の除雪作業を極力減らす為、1日の施工延長を短縮し完成断面まで施工できるよう計画を立てる。（例えば、1日の予定が100mの路肩盛土の場合、30mを盛土法面整形張芝まで行う。）後日、施工する箇所は、シートにより覆う。</p>

